

教科名 美術科1年		担当者 川村 清史		評価項目		
月	単元名・内容	配当 時間	観点	特に重視する 観点に◎ (評価する観 点に○)	主な判定基準(おおむね満足できる Bの基準)	主な評価方法
4 5	モノトーンマジック ・平面構成 ・抽象デザイン スケッチ ・写実表現 ・色彩表現	5	知識・技能	○	・美術の知識・技能を学び、それを生かしながら活動することができる。 ・材料や用具の特性を理解し、意図に応じた技法を工夫し表現することができる。	授業観察 活動状況巡視 作品添削指導 作品評価 定期考査
			思考・判断 ・表現	◎	・見たり感じたりしたことから主題を生み出し、構成を工夫し、構想を練っている。 ・対象の美しさを感じ取り、独創的な発想で作品を制作することができる。 ・アイデアスケッチを基に構想を練ることができる。	授業観察 活動状況巡視 作品添削指導 作品評価
			主体的に学 習に取り組 む態度	◎	・授業に意欲的に取り組み、創意工夫をする前向きな姿勢を持ち最後まで努力することができる。 ・丁寧に制作し、美しい作品に上げることができる。 ・自分の作品や友達の作品のよさや美しさを味わうことができる。 ・集団授業であることを自覚し、安全に配慮することができる。	授業観察 忘れ物点検 提出物点検 制作課題の点検
6 7 9	仮面の制作 ・アイデアスケッチ ・デザイン ・粘土による立体表現 ・色彩表現 ・着色 ・仕上げ	15	知識・技能	◎	・美術の知識・技能を学び、それを生かしながら活動することができる。 ・材料や用具の特性を理解し、意図に応じた技法を工夫し表現することができる。	授業観察 活動状況巡視 作品添削指導 作品評価 定期考査
			思考・判断 ・表現	◎	・見たり感じたりしたことから主題を生み出し、構成を工夫し、構想を練っている。 ・対象の美しさを感じ取り、独創的な発想で作品を制作することができる。 ・アイデアスケッチを基に構想を練ることができる。	授業観察 活動状況巡視 作品添削指導 作品評価
			主体的に学 習に取り組 む態度	◎	・授業に意欲的に取り組み、創意工夫をする前向きな姿勢を持ち最後まで努力することができる。 ・丁寧に制作し、美しい作品に上げることができる。 ・自分の作品や友達の作品のよさや美しさを味わうことができる。 ・集団授業であることを自覚し、安全に配慮することができる。	授業観察 忘れ物点検 提出物点検 制作課題の点検
10 11 12	色について ・色の整理 ・色の性質 ・色の活用 平面構成 ・画面構成 ・立体感のある構成 ・等角投影による制作	15	知識・技能	◎	・美術の知識・技能を学び、それを生かしながら活動することができる。 ・材料や用具の特性を理解し、意図に応じた技法を工夫し表現することができる。	授業観察 活動状況巡視 作品添削指導 作品評価 定期考査
			思考・判断 ・表現	○	・見たり感じたりしたことから主題を生み出し、構成を工夫し、構想を練っている。 ・対象の美しさを感じ取り、独創的な発想で作品を制作することができる。 ・アイデアスケッチを基に構想を練ることができる。	授業観察 活動状況巡視 作品添削指導 作品評価
			主体的に学 習に取り組 む態度	◎	・授業に意欲的に取り組み、創意工夫をする前向きな姿勢を持ち最後まで努力することができる。 ・丁寧に制作し、美しい作品に上げることができる。 ・自分の作品や友達の作品のよさや美しさを味わうことができる。 ・集団授業であることを自覚し、安全に配慮することができる。	授業観察 忘れ物点検 提出物点検 制作課題の点検
1 2 3	墨絵の制作 ・墨を使った描画 美術鑑賞 ・映像作品の鑑賞 ・作品資料の鑑賞	10	知識・技能	◎	・美術の知識・技能を学び、それを生かしながら活動することができる。 ・材料や用具の特性を理解し、意図に応じた技法を工夫し表現することができる。	授業観察 活動状況巡視 作品添削指導 作品評価 定期考査
			思考・判断 ・表現	○	・見たり感じたりしたことから主題を生み出し、構成を工夫し、構想を練っている。 ・対象の美しさを感じ取り、独創的な発想で作品を制作することができる。 ・アイデアスケッチを基に構想を練ることができる。	授業観察 活動状況巡視 作品添削指導 作品評価
			主体的に学 習に取り組 む態度	◎	・授業に意欲的に取り組み、創意工夫をする前向きな姿勢を持ち最後まで努力することができる。 ・丁寧に制作し、美しい作品に上げることができる。 ・自分の作品や友達の作品のよさや美しさを味わうことができる。 ・集団授業であることを自覚し、安全に配慮することができる。	授業観察 忘れ物点検 提出物点検 制作課題の点検